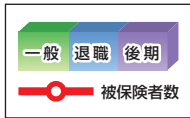
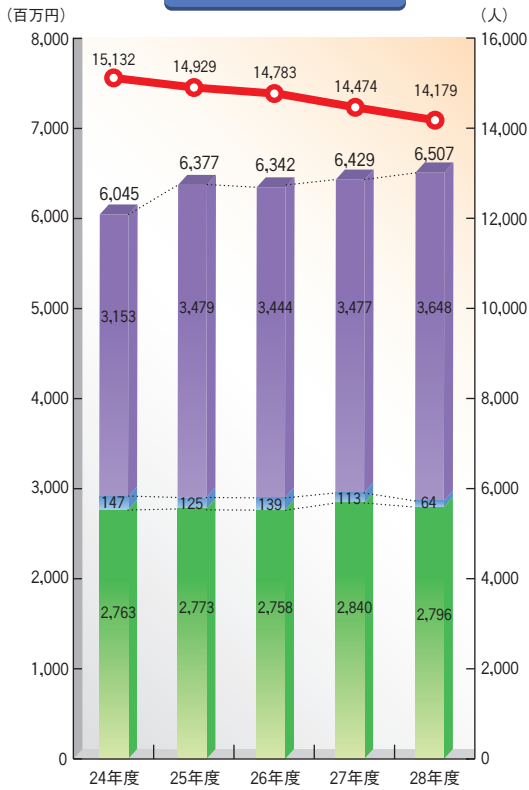


# 那須町

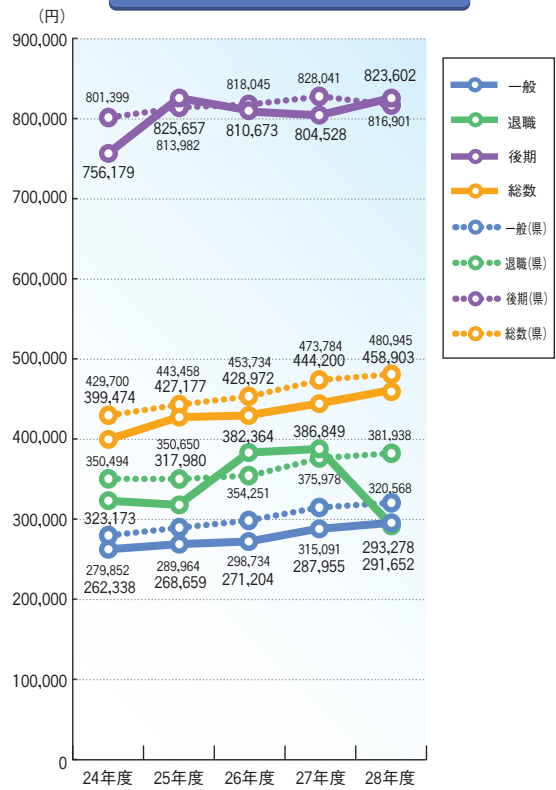
# 那須町



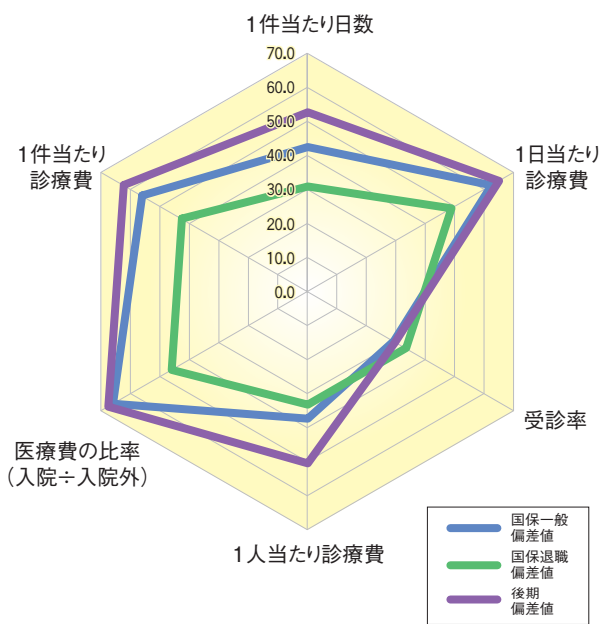
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

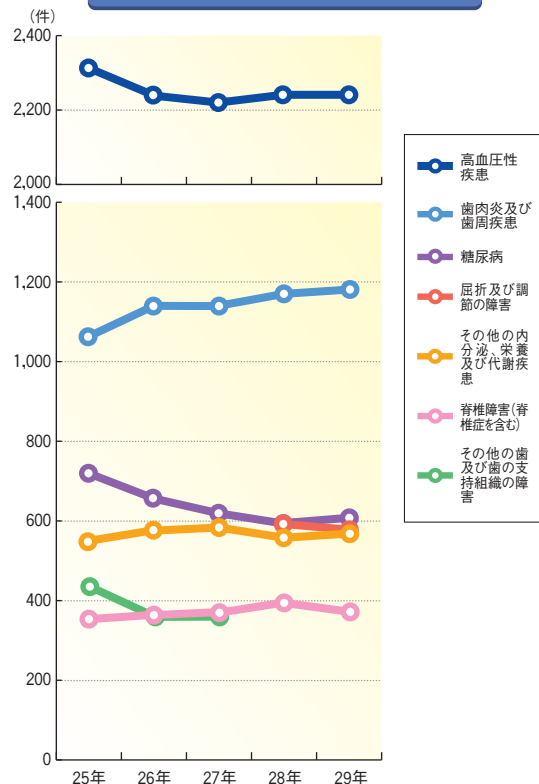


## 平成28年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

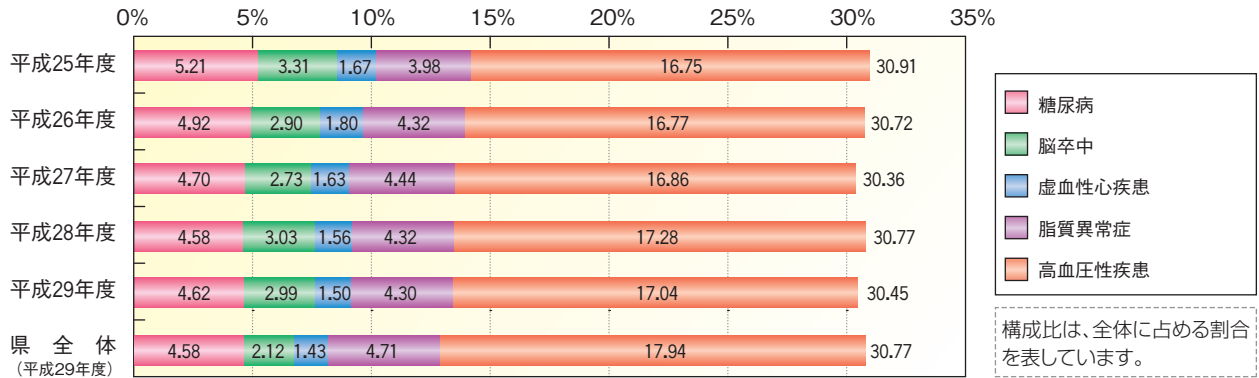


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

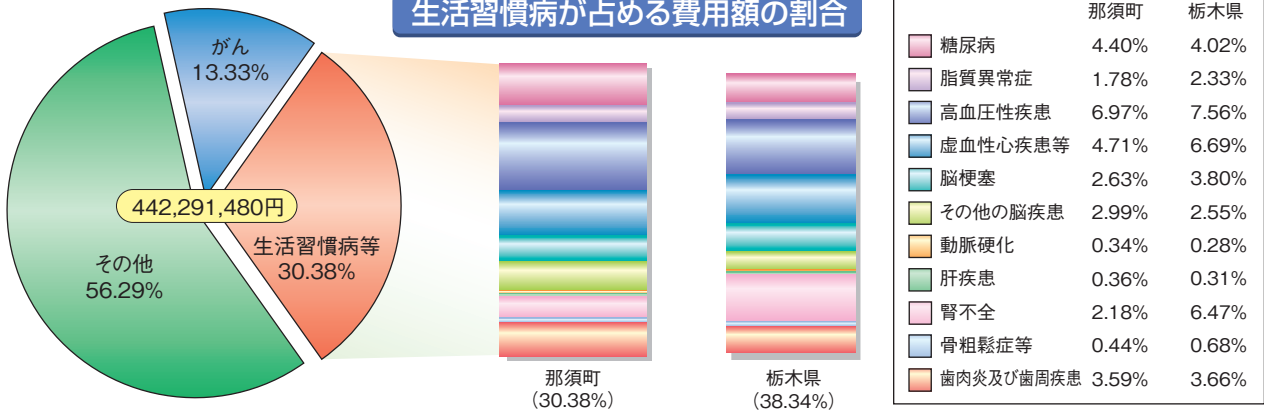
## 多受診疾病上位6位の推移



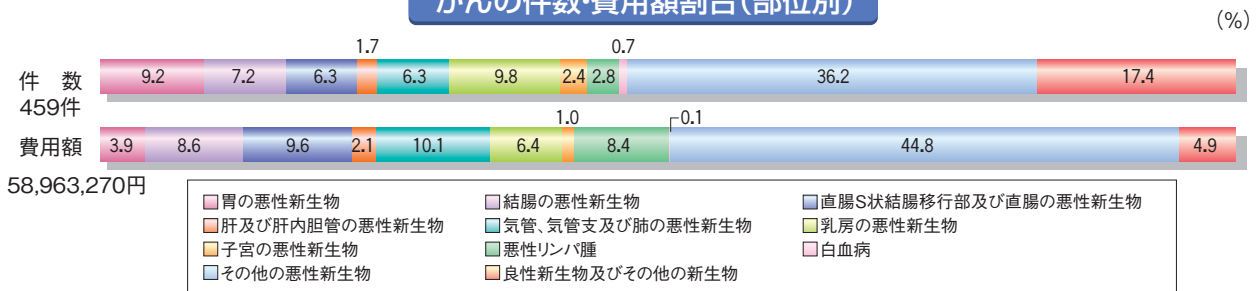
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 那須町の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,795,525千円(98.5%)、退職63,580千円(56.5%)、後期3,647,598千円(104.9%)で、全体では6,506,703千円(101.2%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は14,179人で、内訳は一般9,532人、退職218人、後期4,429人である。前年度比較すると全体で98.0%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は458,903円(14,703円増)、一般は293,278円(5,323円増)、退職は291,652円(95,197円減)、後期は823,602円(19,074円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般は1日当たり診療費、医療費の比率及び1件当たり診療費の値が県平均を上回り、後期は受診率を除く項目すべてが県平均を上回る偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位脊椎障害(脊椎症を含む)で、4位の屈折及び調節の障害は、平成27年度以降急激に増加しており、平成25年度と比べ、件数は2.20倍、費用額は3.73倍と急激に増加している。

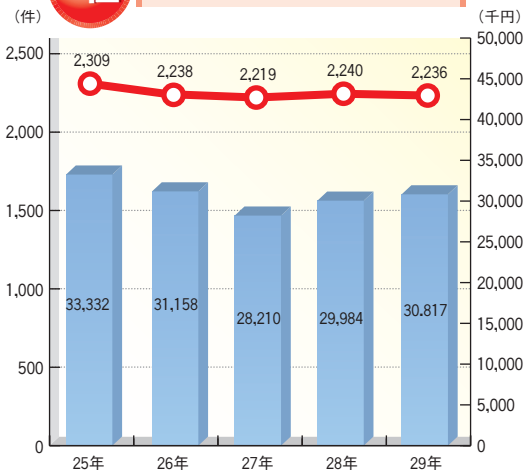
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は低いが、脳卒中は高い構成比となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が442,291,480円で、がんが13.33%、生活習慣病等が30.38%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。生活習慣病等で占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患6.97%、虚血性心疾患4.71%、糖尿病4.40%となっている。

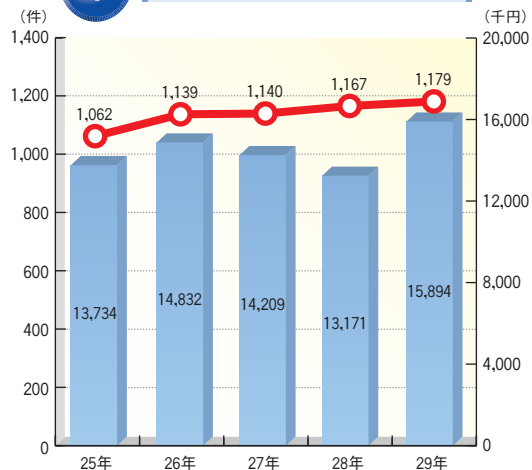
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、乳房の悪性新生物、費用額では直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合を占めている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

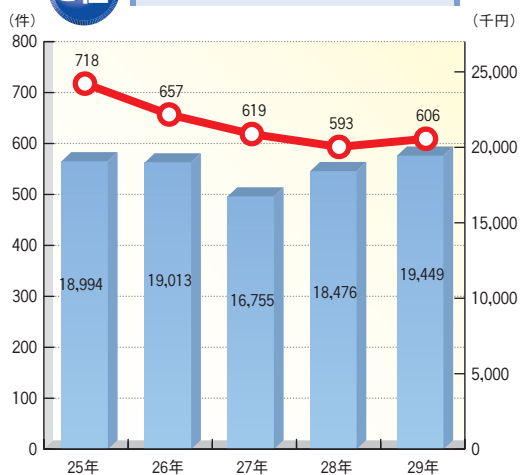
## 1位 高血圧性疾患



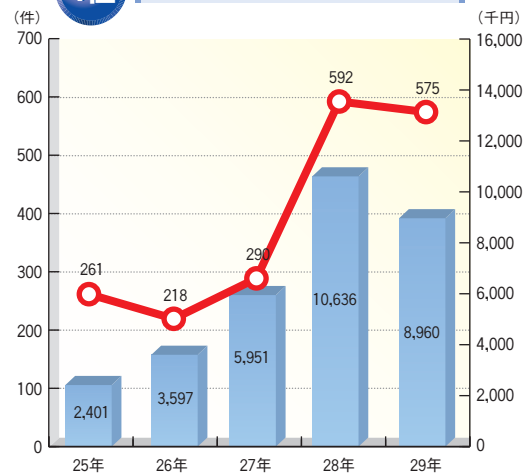
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



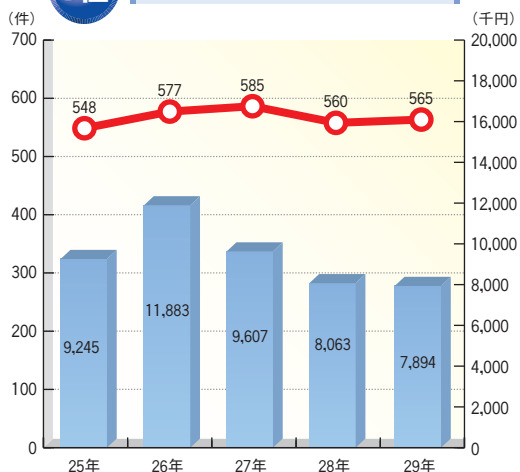
## 3位 糖尿病



## 4位 屈折及び調節の障害



## 5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 6位 脊椎障害(脊椎症を含む)

